

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和2年度】

令和3年 3月 18日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 13-0826

所在地 東京都八王子市元八王子町2-3301-2

評価機関名 株式会社インタラクティブ・マネジメント・サポート

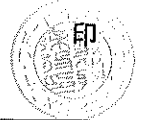
認証評価機関番号

機構 03 - 085

電話番号 042-665-3099

代表者氏名 箕田 茂

以下のとおり評価を行いましたので報告します。



評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	箕田 茂	経営	H0303015
	②	平野 妃佐恵	福祉	H0801006
	③	山本 由紀子	福祉	H1401007
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	指定介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】			
評価対象事業所名称	不老の郷		指定番号	1372400216
事業所連絡先	〒	190-1201		
	所在地	東京都西多摩郡瑞穂町二本木字和田1319番		
	TEL	042-557-3030		
事業所代表者氏名	施設長 田中 育夫様			
契約日	2020年 10月 1日			
利用者調査票配付日(実施日)	2020年 12月 24日			
利用者調査結果報告日	2021年 2月 5日			
自己評価の調査票配付日	2020年 12月 24日			
自己評価結果報告日	2021年 2月 5日			
訪問調査日	2021年 2月 17日			
評価合議日	2021年 2月 17日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	利用者調査は、施設には全数調査が原則であることをお話しましたが、利用者の状態を考えて協議の結果10名に「利用者アンケート」を行ないました。調査は、本来は評価者が利用者と対面で「聞き取り調査」を行いますが、今年度はコロナの影響もあり、職員の方に介添えをして頂きながら利用者ご自分で「利用者アンケート」表に回答して頂きました。設問内容には職員に関する事も含まれるため、利用者顔見知りでない方に介添えをして頂きました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

令和3年 3月 18日

事業者代表者氏名

田中 育夫

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	コロナ禍でも楽しめる暮らしを工夫し、利用者が充実した日々を過ごせる取り組みをしています
	内容	コロナ禍により例年のような行事や家族面会はできませんでしたが、緊急事態宣言時には家族との面会はりもついでに行い、ブログには利用者の様子を載せ、出来るだけ更新しました。端午の節句は庭に沢山の鯉のぼりを泳がせ、戸外の空気を楽しみ、夏にはビアホールメニューのノンアルコール飲料で乾杯しました。敬老会はオンラインの式典として長寿を祝いました。年末は敷地内のみかんや金柑を収穫したり、正月飾りを作ったりと毎日充実した生活を送っています。日々の書道や料理、遊びなどのサークルも活発に活動しています。
2	タイトル	研修等の充実で質を高めた職員の支援が利用者の自立を促し、自分らしく生きることを支えています
	内容	今年度の利用者の平均の介護度は3.68、昨年度は3.69、一昨年度は3.81でした。利用者の高齢化が進む中、介護度が年々軽度になっています。機械浴による入浴は利用者の約2割弱、ほとんどの利用者が大浴場に入浴しています。夜間おむつを使用する利用者は3割弱です。排泄表による排泄リズムの把握が行われ、自立した排泄支援をしています。重度化を見据え新しいマットレスや電動ベッド、介助型個浴を導入し良質な睡眠と安全な入浴が出来るようにしましたが、職員の質の高い支援が利用者の自立を促し、自分らしく生きることを支えています。
3	タイトル	手厚い職員配置が職員の負担軽減にも繋がり、雇用も安定しています
	内容	利用者の高齢化、職員の高齢化により、個々の職員の負担が年々増えていますが、施設としては経営面で様々な工夫をしながら、職員の負担軽減に努めています。就業状況に関しては、出来るだけ休暇を取得できるようにシフト調整を綿密に行なうと共に、期間限定の派遣ではなく紹介型派遣に切り替える等雇用の安定に努めました。更に、電動ベッド等の導入により職員の身体的な負担軽減にも配慮しています。職員アンケートでも、「休日がしっかりとれる」「職員配置が向上した」「腰痛対策が良い」などの声が多く、職員を大切に施設の姿勢が窺えます。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	介護ソフトの機能を活用し、業務の効率化や情報共有が進むことが期待されます
	内容	施設では今年度新たに介護ソフトを導入しましたが、現在使用している機能は限局的で、情報の蓄積ツールに留まっています。パソコン操作が苦手な職員もいるため、施設では担当職員が操作マニュアルを作成し、全体での勉強会や個人別の指導をして、全職員がソフトの活用が出来るように取り組んでいます。来年度からは、月別にフォーマット(例:事故報告書、等)を決めて徐々に実用範囲を拡大していく計画です。施設としては、このソフトを全面的に活用し、職員間の情報共有や業務の効率化を進めたいとのことです。今後の進捗が期待されます。
2	タイトル	施設に潜在するリスクに対する対策の優先順位付けが課題となっています
	内容	施設が目指すことの実現を阻害する恐れのあるリスクに関しては、コロナ禍の最中という事もあり「感染症」を優先課題として様々な対応策を講じています。感染症対策委員会を中心に対応マニュアルを作成し、職員にも徹底させています。更に様々な災害に対応するための事業継続計画書を策定して不慮の事故に備えています。ただ、「感染症」以外のリスクに関する優先順位付けは行なわれていない様です。利用者への影響、経営への影響を最小限に抑えるためにも、リスクに対する優先順位付けを行い、優先順位の高いものから対策を講じる事が望まれます。
3	タイトル	着実な計画の実行に向けて、事業計画等の職員への周知が望まれます
	内容	法人が向こう6ヶ年に亘る中長期計画を策定しています。この計画を基に施設としての年次事業計画書を策定し、それを基に年間予算を立てています。計画書では、経営方針の他に、「諸会議・委員会活動」「週間日課予定表」「年間行事計画一覧」等の詳細が網羅され、職員にも理解し易い内容になっています。この計画書を元に年度の最後に「事業実績報告書」を策定して、1年間の実績を項目別に詳細に総括しています。ただ、職員アンケートでは、特に一般職員の、これら計画書・報告書に関する理解度が高くありませんでしたので、更なる周知が望まれます。